



芳野YMマシナリー株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 島崎 啓一

SDGsの達成に向けた取り組み

100余年受け継がれてきた創造スピリッツで技術革新を続ける

- 当社は1919年の創立以来、製本機械の技術革新を積み重ねてきました。今後も、お客様一人ひとりに最適なマシンとソリューションを提供していきます。
- 高度な教育やマンガ文化を支えてきたことに誇りを持ち、情報・教育産業の裏方として社会に貢献していきます。具体的には、顧客ニーズに対応した改造や開発が可能な人材を育成し、技術スキルを更に向上させ、ニーズを満たす生産システムの提案や構築を行っていきます。
- 新しい業界への新規参入を目指していきます。

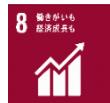


【指標】

2023年 新機能等の開発案件検討数／開発数 6件/1件 ⇒ 2030年 累計50件/10件

皆が働きがいがあり、スキルアップできる職場を目指す

- 若手への技術承継を進めるため、指導者の育成に力を入れ、当社の創造スピリッツを繋いでいきます。また、働きがいと働きやすさの両立を目指し、社内コミュニケーションの充実を図っていくほか、公平感のある人事制度の構築も進めていきます。
- 社員の意識改革を進めるため、『新しいことや業務の改善に関する提案制度』を導入し、良好な提案に対する表彰制度も開始します。教育に携わる企業として、地域の子どもの職場体験や工場見学を受け入れていきます。



【指標】

業務や職場環境に関する改善提案の提案数／改善の実施数 ⇒ 2030年 30件/10件

職場体験の企画＆提案数／職場体験の実施数 ⇒ 2030年 15件/3件

「健康経営」や「ダイバーシティ経営」を推進していく

- 誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性や若者を積極的に採用します。
- 女性の意見を積極的に取り入れるとともに、女性の活躍を推進していきます。そのため、女性役職者を計画的に育成していきます。
- 従業員の健康の維持増進や工場の職場環境改善に努めていきます。



【指標】

2023年 女性社員の割合 14% ⇒ 2030年 21%(+7%)

地域とのつながりを深め、地域に貢献します

- 今後も取引先と協力して事業活動を行っていくほか、地域での協会会社発掘に力を入れ、パートナーとの連携を高めることで業界の発展や地域貢献を行っていきます。



廃棄物や温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指します

- 設計段階からの省エネ製品の開発を心掛けると共に、共有可能部品の採用や部品のリサイクル等にも取り組んでいきます。
- また、順次環境に配慮した社用車への入れ替えを進めていきます。



【指標】

2023年 社用車の環境配慮型車両の導入割合 27% ⇒ 2030年 51% (+24%)